

国際研究集会のご案内

東京大学史料編纂所は、ロシアを含む東アジア所在日本関係史料の系統的な調査研究に取り組み、中国第一歴史檔案館の協力を得て、同館が所蔵する日本関係清代檔案（史料）のデジタル画像による収集をおこなっています。

軍機処録副・朱批奏請など、すでに約 3000 点のデジタル画像を受理し、現在は日中両国語による目録出版に取り組んでいます。同館が所蔵する清代檔案には、18 世紀の日本人漂流民にかかわるものから、日本の幕末・明治期にあたる時代のものまで、多くの貴重な史料が含まれています。

今回は、プロジェクト最終年度にあたり、中国第一歴史檔案館鄒愛蓮館長を招き、下記の日程で国際研究集会を開催いたします。ぜひ御参加ください。

日本関係清代檔案をめぐる国際研究集会

日時: 5 月 13 日 (水)、14:30~16:30

会場: 東洋文化研究所・大会議室 (本郷キャンパス)

特別報告: 鄒 愛蓮館長 (中国第一歴史檔案館)

「文化遺産の応急的保護と清史編纂プロジェクト」

※ 中国第一歴史檔案館は故宮西華門内に位置し、明清時代の皇帝檔案 1000 万件を収蔵する文書館です。今回は、現在進行中の清史編纂プロジェクトについてお話いただけます。あわせて、プロジェクト代表者 保谷 徹 (史料編纂所教授) より、この間の研究経過と収集史料の概要について、報告を行います。

※ 終了後、レセプションを予定。



史料編纂所 会場が従来と異なりますのでご注意ください。

主催/日本学士院・ 東京大学史料編纂所

連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究 (A) 「東アジアの国際環境と中国・ロシア所在日本関係史料の総合的研究」/画像史料解析センター 中国檔案画像デジタル化プロジェクト (研究代表者: 保谷徹)

※ 本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業 (国際学士院連合関連事業) の一環として行われます。